

平成30年第1回下仁田町議会定例会会議録第4号(20日)

招集年月日	平成30年3月6日					
招集の場所	下仁田町議会議場					
開閉会日時 及び宣言	開会	平成30年3月6日午前10時00分			議長	堀口博志
	閉会	平成30年3月20日午後0時01分			議長	堀口博志
応(不応)招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席12名 欠席名 欠員名 凡例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
	1	小須田 肇	○	7	佐藤 勇二	○
	2	岡田 邦敏	○	8	千野 榮治	○
	3	永井 正之	○	9	島崎 紘一	○
	4	木暮 弘元	○	10	堀口 博志	○
	5	岩崎 正春	○	11	岡田 武二	○
	6	佐藤 博	○	12	佐藤 公夫	○
会議録署名議員	5番	岩崎 正春	6番	佐藤 博		
職務のため議場に 出席したものの氏名	事務局長	樋口 令子		書記	小井土直也	
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町長	原 秀男		福祉保険課長	岡野 均	
	副町長	吉弘 拓生		保健環境課長	猪野 馨	
	町長公室長	荻野 英雄		農林課課長補佐	佐藤 圭司	
	総務課長	浅川 幸則		商工観光課長	林 通典	
	地域創生課長	岩井 収		建設ガス水道課長	神戸 宏	
	住民税務課長	大小原 敏江		教育課長	大河原 順次郎	
	会計課長	(住民税務課長兼務)				

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 第29号議案 平成30年度下仁田町一般会計予算（修正）
- 2 委員長報告（付託議案）
- 3 第29号議案 平成30年度下仁田町一般会計予算（修正）
- 4 第30号議案 平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計予算
- 5 第31号議案 平成30年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算
- 6 第32号議案 平成30年度下仁田町介護保険特別会計予算
- 7 第33号議案 平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算
- 8 第34号議案 平成30年度下仁田町水道事業会計予算
- 9 第35号議案 平成30年度下仁田町ガス事業会計予算
- 10 陳情第1号 若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情
- 11 陳情第2号 年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情
- 12 第36号議案 平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約の変更について
- 13 議員派遣の件について
- 14 閉会中の継続調査の申出書について

会 議 の 経 過

開 会 平成30年3月20日 午前10時00分

- 議長 堀口博志 これから本日の会議を開きます。
- 茂木教育長より欠席届が出ておりますので、欠席理由について申し上げます。
- 本日、県下一斉の教員の内示日に当たり、それに伴う教育委員会、学校校長会開催のため、欠席とさせていただきますということの通知が来ておりますので報告いたします。
-
- 議長 堀口博志 日程第1、第29号議案 平成30年度下仁田町一般会計予算の質疑を再開いたします。

○議長 堀口博志 佐藤勇二君

○7番 佐藤勇二 16日の続きのことなんですけれども、ちょっと確認したいことが2点ほどあります。

公室長に聞きたいんですけれども、うきはから連絡が来たのが2月の後半というような話がありましたけれども、正確に日にちがわかりますか。それか、来る前に下仁田町のほうからお伺いはしたかどうか、これがまず第1点です。よろしくをお願いします。

○議長 堀口博志 町長公室長

○町長公室長 荻野英雄 ただいまのご質問でございますが、まず、うきは市には下仁田町から直接ご訪問はしてございません。町からうきは市さんに対しまして、副町長の人事案につきましてご協議を申し上げたのが、文書で2月21日、下旬と前回も回答させていただきましたが、協議について文書を提出してございます。

○議長 堀口博志 佐藤勇二君

○7番 佐藤勇二 もう一点なんですけれども、議員協議会の際に議長に聞いたんですけれども、この一連のことで町長から議長に相談や連絡はあったかということを知りたいんですけれども、議長はないという返事でした。なぜ、議会にこの一連の話をわかった時点で報告しなかったかどうか、町長にお尋ねします。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 休憩をお願いします。

○議長 堀口博志 暫時休憩をとります。

休 憩 午前10時05分

再 開 午前10時07分

○議長 堀口博志 休憩を解いて再開いたします。

町長

○町長 原秀男 連絡しませんでした。

(「今、聞こえなかった」の声あり)

○町長 原秀男 しませんでした。

○議長 堀口博志 佐藤勇二君

○7番 佐藤勇二 わかりました。

私の質問は以上です。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 平成26年12月26日に、町長、正副議長でうきは市に表敬

訪問いたしました。その際に、幾つか先様から吉弘副町長に対して、動きやすい環境を整備してほしいというようなお願い、要望があって、それらを含めて協定書が結ばれたんだというふうに私は承知しています。その中で、市長、あるいは議会側から吉弘副町長に対しては、とにかく一生懸命やる人間なので、中途半端でやめさせたりというようなことはしてほしくない、あるいは中途半端でやめさせるようなことはしてほしくないという旨の話は何度も出ています。市長の側からも議長側からも出てます。それらのエールに対して副町長は、中途半端で帰るのではなくて、仕事をやり尽くしたというふうに思って辞表を出されたのかどうか、その辺を副町長のほうにお尋ねします。

○議長 堀口博志 副町長

○副町長 吉弘拓生 岩崎議員のご質問にお答えいたします。

平成26年12月に原町長と前議長である佐藤勇二議員さん、それから岩崎さんが行かれたということにつきましては、私も存じておりますし、うきはのほうから聞いております。詳細の中身についてはわからない部分もありますけれども、中途半端というのが、期限を区切った中での中途半端であればまずいなというふうに思っておりました。

今回、1年間という中でやってきた中で、全てが今できているのかというところと悩むところがあるんですけども、いろんなことを考える中において、後世にお願いしようかなという部分がでてきたり、いろんなタイミングだったのかなというふうに私自身も今感じているところでございます。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 一連の流れの中で、町長はもちろん、副町長の活動がしやすいサポートを一生懸命やり、副町長とともに頑張りたいと、そういう約束をして帰ってきたわけです。それで、そのときにあと在任期間は2年はあるが、1年後に延長するかどうかを決めるという内容だったかなと思ったんです。それでその中でも、途中でやめることも協議できるんだというような話もあったんですけども、私の承知している範囲はそれです。

ですから、人事に関する事です。普通、遅くとも12月、あるいは1月の初頭には人事に関する話し合いがあってしかるべきだと思うんです。帰ってくる職員の処遇の問題もありますから、それは2月にうきは市との話し合いが始まったということで答弁の中で聞いたんですけども、延長してほしい、辞表が出たから受理したということなんでしょうけれども、一緒に頑張りたいという町長の思いがあれば、当然12月、あるいは遅くとも1月の

時点ですきは市との調整をする、帰る分でもうきは市との調整をする、そういったことは今の答弁の中でもしなかったと断言されたわけですが、これはあくまでも紳士協定であり友好協定なんで、これは非常に議会をしても、納得はいかないなというふうに思っています。しかも、今議会の初日に、議会の前にそういう意向があるということを伝えれば、こんなに議会が、運営がまた違った運営になったかと思えますけれども、議会側からの指摘を受けて、こういう混乱が続いているわけです。このことに対して、町長はどのように考えているかお尋ねします。

○議長 堀口博志 暫時休憩をとります。

休 憩 午前10時12分

再 開 午前10時14分

○議長 堀口博志 休憩を解いて再開いたします。

町長

○町長 原秀男 お答えします。

平成26年にちょっとまた戻った話をいたします。

佐藤勇二議員と……

(発言する声あり)

○町長 原秀男 失礼、平成28年です。平成28年の私が町長に就任してうきは市に行ったとき、岩崎議員と佐藤勇二議員と、あのときの中で、うきは市の高木市長の発言で、途中で切れている部分もありますけれども、町長、議長よりの配慮で過分なお言葉をいただいた。大切なのは本人の気持ちを尊重しますが、あと2年、4年の任期の中で、できればあと1年で任期を終わりにしたいが、再来年4月以降の1年後の状況を精査してという協定を改めて結びたい。下仁田町の皆さんが吉弘を支えていただいていることは十分承知していますが、また彼も、彼の家族も彼を支えているので、家族への配慮もいただけるとありがたいことです。ここで私が、私も同じ思いですと言っています。そして、高木市長が任期4年なんです。あと2年いけば自然と任期になるが、もしよろしかったらあと1年だけで、あとは状況を見てどうするかなんですということで、要するに、それで任期を1年ということで29年の4月から3月までということで協定を結ばせてくださいということの状況でした、去年1年間で。

それで、ことしになって3月の任期が近づいている中で近づいてきたと。それと、うきは市との関係もありまして、じゃ、どうしますかということになって、それで、じゃ、協定どおり高木市長のほうへ連絡したと。それを議

長に話さなかったということなんですけれども、まだ吉弘君の身分が向こうへ入れるかどうかわからない、そういうこともありまして、水面下にしてくれということで進めました。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 今の答弁でいきますと、副町長の処遇を考えてということであれば、なぜ、じゃ、受理したわけですか。私たちは2人は、正副議長は、議会の公費を使わせていただいて、うきは市に表敬訪問をして、町長のお願いに同行して、議会もお願いするということで公費を使わせていただいて行っているわけです。ならば、6日の日に受理を簡単にしたんですか。そこで初めて辞表ということは誰にも言わないで、初めて辞表が出たものを受理したわけですね。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 6日じゃなくて16日です。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 すみません、16日に受理したと。なぜ、議会の期間中に、議会が開催中だったのに、なぜ、そこで単独で受理されたかということです。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 予算案が進む中で、副町長の処遇の問題でうきは市との関係の中で、ともかく水面下にしてくれということで、私のほうは言われてきました。それで、めどは16日に立った状態になりました。それで受けたと、そういうことです。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 いずれにしても、議会の開催中だから、相談しようと思えばいつでも、瞬時にでも、朝一番でもできるわけですよ。しかも、職員の管理者会議ではそういう話をされたんですか。

○議長 堀口博志 町長公室長

○町長公室長 荻野英雄 3月16日、副町長の辞表が出されまして、その後、課長連絡会議を開催をいたしまして、その旨を課長には伝えてございます。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 町長が承知してきたんだから、町長自身が一番承知しているところでございますよね。課長会議を開いてその旨を伝えるんなら、瞬時に同時進行で議会にも相談が十分にできる時間はあったと思います。まさに議会軽視、議会の軽視しているわけでしょう。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 休憩。

○議長 堀口博志 暫時休憩をとります。

休 憩 午前10時20分

再 開 午前10時37分

○議長 堀口博志 休憩を解いて再開いたします。

町長

○町長 原秀男 16日に辞職願が出されて、なぜすぐ議会に話さなかったかということなんですけれども、最初からこれ最後まで、うきは市長との私のお話でまだ水面下、水面下ということできましたので、非常にそれが頭に強くありまして、配慮が足りなかったと非常に感じています。申しわけなく思っております。

○議長 堀口博志 副町長

○副町長 吉弘拓生 重ねまして、私のほうからは最終日の一番最後に発言の許可をいただきたいということで、その旨、お伝えをさせていただいております。配慮が足りず、まことに申し訳ありませんでした。

○議長 堀口博志 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 正副の町長から答弁があったんですけれども、我々、私、少なくともうきは市まで行ってお願いしてきた立場とすれば、吉弘さんをお返しするときは、皆さんで本当にご尽力いただいてありがとうという感謝の気持ちで送りたいわけです。ただ、今、町長の言動を見ると、これだけ議会が混乱しているということに対して、今後、どういうふうにもうきは市に帰る方法というんですか、この信頼をどういうふうにも高めていくのか、その辺をお尋ねします。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 先ほども申したように、余りにも彼の将来、非常に大きくかかっていました。それで、うきは市長、またうきは市議会とのことを優先しました。そのことをもって皆さんに迷惑をかけたことに対しまして、やはり配慮不足ということで、申しわけないと思っております。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 数点、質問させていただきます。

うきは市との関係、そして副町長の将来ということで水面下でという、今そういう答弁だったようでありまして、だんなならば、なおのこともっと早くから準備して、議会とも相談をして、水面下でなくて、せめて執行と議会、この連携のもとで将来のある副町長、3年間ここで世話になった形の

対応、将来をみんなで考えてやらなきゃいけない、私はそう思うんですよ。なぜ2月29日、もうここまで押し迫ってからの協議の申し入れとなったのか、この時期はとても遅いと。昨年暮れから協議の申し入れ、準備をしてもよろしかったのではないかな、その時点から議会に相談をしながらやっていただいてよかったのではないかな、私はこう思うんですが、この時期のことをめぐってこの時期で、2月29日、妥当な考えですか、遅いとお考えですか。

○議長 堀口博志 町長公室長

○町長公室長 荻野英雄 ただいま、佐藤議員のほうで2月29日というご発言がございましたが、私が申し上げたのが2月21日ということでご理解いただきたいと思います。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 2月29日はなかったんですね。私の聞き間違い、2月21日ということで、じゃ、訂正願いたいと思いますが、2月21日、まだ1カ月もちょうどだったこの時期、副町長にお帰りいただくとする協議を始めるには、少し1カ月じゃ時期が遅いというか、暮れのうちから、昨年のうちからそういう準備はすべきではなかったんですか、その辺、いかが考えですか。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 先ほども申したように、一昨年の12月に高木市長との話の中で、最終めどというか、任期がこの3月ということになっていました。そういうことも含まれております。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 それでは、その申し入れの内容について、お話しいただけますか。

○議長 堀口博志 町長公室長

○町長公室長 荻野英雄 ただいま、お申し入れの内容ということでございますが、まず、申し入れの内容につきましては、吉弘副町長には就任以来、地方創生の取り組みを推進していただき、まち・ひと・しごとの総合戦略の策定にも非常に知恵をいただいたと。各事業に推進をご尽力をいただいたということをまず申し上げます。そのほかに、重点「道の駅」やらサテライトオフィス、ICT環境と、そういったハード、ソフトの事業についてもご貢献をいただき、おおむね29年度でその事業を完了する見通しであるということをお知らせしております。さらに、ねぎとこんにゃく下仁田奨学金ということで、全国にも珍しい事業の導入に当たって、企業版ふるさと納税の導入と、そういったことも国とのいろいろなやりとりの中で副町長の力をいただいたとい

うことがございます。さらに、人材育成の部分におきまして、下仁田町の職員がまだ余り経験のない国とのパイプ、そういった部分につきましても、吉弘副町長のお力添えによりまして、かなりよい国との関係もできたということでございます。そういった部分におきまして、地方創生、人材育成、そういった部分で一定の道筋をつけていただくことができたということで、また覚書でもございます30年3月31日ということもございますので、そういった副町長の実績、町への貢献を全て勘案いたしまして、3月31日で今回の人事交流は終了させていただくということで申し出をしております。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 内容はわかりました。がしかし、2月21日では余りに遅かったんではないですかという点についてはいかがでしょう、町長。妥当な時期ですか。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 妥当かどうかは私はわかりませんが、今までの流れで見れば、一カ月半前、そういうことです。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 この時期にそういう申し入れをしながら、予算書には副町長の報酬分がしっかりと盛り込まれているのを我々は審議をさせられていた、こういうことですよ。それで、3月に回答、返答をいただいたということでございますが、これに対する内容、日時、これについて回答いただきたい。

○議長 堀口博志 副町長

○副町長 吉弘拓生 ご質問の、3月2日にお電話にて、うきはのほうから連絡をいただいております。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 これは文書ということではなくて、3月3日に連絡があったということによろしいんですか。

○議長 堀口博志 副町長

○副町長 吉弘拓生 はい、文書の中身のとおり承知したということでございました。

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 それでは、吉弘副町長さんにお尋ねするんですが、なぜ、議会の最終日16日の早朝の辞表の提出となったのか、この辺の真意をひとつ伺いをさせてください。

○議長 堀口博志 副町長

○副町長 吉弘拓生　　ちょっと、大変デリケートな話もあって、全てをお答えできているかわかりませんが、人事交流とはいえ、1度、私も退職をした身分です。ですから、なかなか簡単に復帰ということは、国とか県の職員ではございませんので、おそらく3月2日にわかったというのは、そういう人事交流、タカハシ君を送っているところも含めて終わるといったところだったのかなというふうに思っております。私のほうについては、その時点では特にこうするよというのとはなかったんですけれども、どういうふうに行かせるかということについては協議をしていかなければならないし、恐らく、私も、もともとはうきは市の職員でございましたので、どういうふうに戻していくかとか、その辺もすごくデリケートな部分がたくさんあったのかなというふうに考えております。その段階において、まだ私が戻るという確証はほとんどありませんでしたものですから、ちょっとすぐに辞職願というか退任願を出すことは個人的なところもあってできなかったというのが現実でございます。

○議長 堀口博志　　佐藤博君

○6番 佐藤博　　最終日の早朝に辞表を出して、その場で受理をされると。そうすると、最終日の議会がどういう形になるかということは原町長、容易に想像できることではないかなと。こういう状況になっちゃったということになっているわけですが、そういった想定は当然されたと思いますが、その辺、どうお考えだったのでしょうか。

○議長 堀口博志　　町長

○町長 原秀男　　確かに、その通りです。

先ほど副町長が言ったように、水面下でうきは市との関係がくる中で、あくまで水面下ということで、私もそれを守るのは今までの付き合いかなと思いつつも、予算はどんどん進んでいくと。本当に断腸の思いでございました。

○議長 堀口博志　　佐藤博君

○6番 佐藤博　　私はこういう場面を想定していなかったんです。3年間、よく頑張ってくれているな、今まで言葉にはしなかったけれども、思いながらいたところです。予算に組み込まれておいて、それを審議して、最終日、賛成で挙手をしようと考えておいたわけだけに残念なんです。任期は4年だと思っていました。昨日の新聞には、任期ということで書かれておりましたけれども、吉弘副町長の任期は、副町長の任期は私は4年だと思っていた。もう一年しっかり頑張っていて、さらに下仁田町のために活動、活躍してほしいな、こんな期待をしておいた。青天のへきれきというか、まことに残

念であるよと、こう申し上げて、これは質問じゃないです、回答は結構です。終わります。

○議長 堀口博志 千野榮治君

○8番 千野榮治 今、いろいろな協定の話聞かせていただきました。

16日もちよっと質問させていただいたんですけれども、人事交流が切れるということは、3月31日ということだというふうに室長のほうから聞かせていただきました。それについて、書類提出をしたのが21日ということで、書類でどういう書類を出したのかちよっとわからないんですけれども、吉弘副町長にもう一年いていただくということの慰留の書類を出したのか、それと16日も言いましたけれども、私どもの委員会がうきは市に行政視察をさせていただいたのが1月31日から1、2という2月に入っての行政視察でございました。そのときに、うきはに来ていただく前に、議会のほうから来ていただいた、下仁田に来ていただいたということで、私どもも行って親交を深めようということでうきはに行政視察をさせていただいたんですけれども、その席上、うきはに行政視察をするという会議の中で、吉弘副町長にも参加をしていただいて、ぜひうきはにお返しするということであるので、吉弘副町長にもひとつ随行していただきたいということの話をしました。副町長もぜひうきはに私も随行させていただきたいということの中で、公費で行かせていただきましたので、そうしたらたまたま病気で、ちよっとうきはには戻られているんですが、一緒には行動はできなかつた。そういう席の中で、私が感じたのは、3月31日に人事交流は終わるからうきはに戻るといようなニュアンスは全く私は感じておりませんでした。それが急に、今言った16日に辞表という形で、今、佐藤議員も言ったんですが、たまげたというところでありまして、なぜ、我々、2月の最初に行ったのに、うきはに3月31日決まっているのであれば、その前にうきはの市長さんとの話し合いをなぜしなかつたか。どうしても、前にも原町長が個人のことですからということで控えさせていただきたいということ再三言われましたけれども、年明けに、なぜうきはのほうと折衝をしなかつたということが非常に私はわからないんです。吉弘副町長が今まで下仁田に対して一生懸命やっていた、ぜひ、もう少し頑張っていてくれということであれば、年明けからそういう折衝はうきはの高木市長さんのほうに話を持っていってもよかつたんじゃないかと。高木市長さんもまた向こうでそういういろいろな話をさせていただいた中で、吉弘、戻ってこいやというような話は全く感じなかつたのは事実でございまして、いかんせん、ちよっと戻すのかがわからないと

というのが実際です。

それに、来年度の当初予算に副町長の報酬が載っていると。31日までの人事交流であれば、なぜこれを載つけたのか。帰っていただくのであればここに載せるのはおかしい、私はずっと思っているんで、ここにいる議員の質問している議員の皆さんも全く納得はしていないということでこれだけの時間がかかっているんじゃないかなと思います。どんなに、主張はどんな形で言ってもこれは言いわけにしか私は聞こえません。だから、このてんまつを原町長、どうされるのか。このままでいくと、この30年通らないですよ、予算が。どうするんだか、その辺をちょっともう一度、腹をくくって答弁をしていただければと思いますけれども。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 先ほどから申していますように、うきは市市長との話し合いの中でのことでした。それを優先する余り、それというよりは吉弘君の将来、一つのこれが年初が立つほど厳しい状況になる、そこのところで考えた中での行動で、本当に皆様に対しては申しわけないと思っております。

○議長 堀口博志 千野榮治君

○8番 千野榮治 吉弘君のためにということで、今、町長、答弁しましたけれども、じゃ、なぜ21日なのか、2月の。当初予算の説明をしたのは2月の全協ですよ。なぜ、その前にうきはと何で交渉をしなかったか、何で21日に書類を提出して、うきはの高木市長さんから人事交流は解きましょうというような回答が来たようですけども、その前になぜ、当初予算を組む前にお願いをしなかったか、私はそれが非常に解せないんです。我々も高木市長と話をしたのは2月1日ですよ。議長さんとも話をさせていただきました。吉弘君、頼むよなというこういう話をさせていただいたんです。帰ってこいよという話は一度もありませんでした。副市長さんは、次の日も全部同行していただいて案内をしていただきました。ことしのねぎ祭りも大勢で行かせていただきますよという話もいただきました。決してそんな険悪なムードではなかったと私は思いますけれども、今言ったように、町長の答弁は全く慰留をしていないんじゃないかと、そういうふうに私は思います。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 ある意味、全ては彼の将来を考えてのことでした。

○議長 堀口博志 島崎紘一君

○9番 島崎紘一 いろいろ質問があつて、答弁があつて、大体の流れは見えてきたかなと、そんなふうに理解しているわけですけども、一番肝心なことを

1つだけ聞きたいと思います。

2月21日に文書でうきは市に伝えたと、先ほど、室長の答弁、そうでしたよね。それを見ると地方創生に努力され、29年で完了と、やるべき行事、政策は実施した、一定の道筋ができたので人事交流は終了するとそういう文書でしたね。ということは、その前にこの文書を作成するときに副町長に対して相談したか、副町長の意思がこれに盛り込まれているか、あるいは本人の希望か、こういう文書は町長単独でつくったんじゃないと思うんだよ。当然、当の本人抜きにしては、勝手にそんなことをされると、今、大勢の議員が質問したとおりになってしまいうんです。その辺はどうだったね。当然、じゃ、打ち合わせしないで、当の本人抜きにしてこういった文書は送れないはずだと思うけれども、その辺はどうなんですか。

○議長 堀口博志 町長公室長

○町長公室長 荻野英雄 ただいまの島崎議員のご質問でございますが、うきは市さんに対する申し入れに係りましては、町長、副町長、私を含めて協議をしたものとして申し入れをしております。

○議長 堀口博志 島崎紘一君

○9番 島崎紘一 そうすると、昨年29年、28年12月に正副議長に要請があって3人で行ったときは、そのときの市長の話だと、任期4年があと1年は状況を見てと、大切なのは本人であると。そういうことで協定を、協定じゃなくて覚書を交わしてきたということで、この21日に出た文書がうきは市の答弁としては町として協定どおり実行した、町としては人事もあるし、本人の将来もあるから水面下にしてくれという要請があった、そういうことですよね。どうなんですか、その辺は。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 そのとおりです。

○議長 堀口博志 島崎紘一君

○9番 島崎紘一 そうすると、本人の立場もさることながら、うきは市の市長並びうきは市の議会に配慮が強すぎたんじゃないか。下仁田町議会は予算編成のときは、当然町長部局は2人の予算を組んだわけですよ。そのとおりにいくと、我々はそういう感じで予算審議をしたわけで、これはさきの動議のときに発言しましたけれども、それで交際費はどうかというところ、そういう質問に対して、副町長が東京に行ったり何なりするそのための費用だと。これは明らかに質問に対しての偽証ですよ。下仁田の議会にとっては全く情報を知らされないままうきは市との議会と市長とのやりとりで、本人の行った先の

身分の保障について手間がかかった、それまで伏せておく。ないがしろにされたのはこの議会ですよ。今となっては、白紙に戻してもとのさやに納まりはつきませんけれども、これは町長、釈明ではない、陳謝でしょう。これだけの議会軽視は、私も長く議員をやっているけれども初めてのことです。それも最終日の16日、審議が終了して委員長報告を済ませて、もう通るしかない、採決しかない、そこまで議会を追い込んでおいて重要な話が出てくると。これは言語道断ですよ。ましてや、2月21日のうきは市に対する文書は、室長は町長、副町長が合意のもとにつくった文書じゃないですか。その時点で、なぜ議会に報告がなかったんですか。それが問題なんですよ。答弁は長くしなくもいいですから、陳謝するんならはっきり陳謝してください。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 確かに、島崎議員の言うように、うきは市との、また吉弘君との本当に彼の将来がかかっているということで、私もそれを重視し過ぎました。議会に対して話せなかったことを陳謝いたします。

○議長 堀口博志 佐藤公夫君

○12番 佐藤公夫 私の、この1年間を見ていて、来るべきものが来たなど、副町長の辞表の提出に対してはそういうふう感じております。それにいたしましても、町長、行政のことに関しては、職員はもとより議会にもっと情報提供と相談をすべきだと思いますけれどもいかがでしょう。

○議長 堀口博志 町長

○町長 原秀男 平生、できる限りの相談はしてきているつもりですが、今回の件は本当に偏った形になったと感じております。

○議長 堀口博志 佐藤公夫君

○12番 佐藤公夫 副町長も町長も、副町長が辞表を出したことで、やれやれ、よかったなど町長も副町長も多分、そういうふうな気持ちだったというふうに推測いたします。それにいたしましても、まち・ひと・しごと地方創生、そのために吉弘副町長が大変頑張ってくれた。ハード面だけでなく、着任後の2年間は幹部職員と毎週2日、3日、業務終了後、勉強会を開いていたと職員からそういうような情報を随時耳にしておりました。ところが、約8カ月ぐらい前から、どなたかの指示でその勉強会に1人不参加、2人不参加というような状況が続いて、今はその勉強会が開催されていないようだけれども、ただ副町長、この下仁田町に来て、あなたが一番いい仕事をしてくれたのは職員との勉強会、あわせて中央省庁に行くときの手順や道筋を職員に教えてくれたことだと思います。うきは市の職員でただけでは、この下

仁田で経験した中央省庁とのおつき合い、中央政界との国会議員とのつながり、これがあなたにとってのものすごい財産です。特に、国会議員とのつながり、群馬県選出の国会議員もさることながら、新進気鋭な選挙区が川崎市の国会議員とも親交が深められて、うきは市に帰ったらこの経験を高木市長のために、うきは市民のために十分生かしていただきたいと思います。3年間、本当にありがとう。

○議長 堀口博志 質疑はございませんか。

質疑がないようですので……

(「あるよ」の声あり)

○議長 堀口博志 佐藤博君

○6番 佐藤博 今回、議会のほうからの動議によって、副町長分の予算が1,400万減額になりました。スムーズに素直に修正に応じたということですが、この後、後任副町長は……

○議長 堀口博志 佐藤君、質問が違いますので、予算に関する質問をしてください。

○6番 佐藤博 はい、じゃ、それはまた後ほど。

○議長 堀口博志 質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 質疑がないようですので、第29号議案、予算決算特別委員会に付託をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 異議ないものと認め、予算決算特別委員会に付託することに決定いたしました。

ここで暫時休憩をいたします。

休 憩 午前11時14分

再 開 午前11時42分

○議長 堀口博志 休憩を解いて再開いたします。

○議長 堀口博志 日程第2、委員長報告に入ります。

委員会に付託をいたしました第29号議案に対する委員会における審査の経過及び結果について報告を願います。予算決算特別委員長

(岩崎正春予算決算特別委員長 登壇)

○予算決算特別委員長 岩崎正春 ご指名によりまして、予算決算特別委員長報告を申し上げます。

予算決算特別委員会は、3月20日に302委員会室にて、本会議において付託された議案1件について審査を行いましたので、その結果についてご報告いたします。

なお、本委員会は全議員で構成する特別委員会でありますので、質疑の内容は省略させていただきます。

付託された第29号議案 平成30年度下仁田町一般会計予算（修正）は、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもって予算決算特別委員長報告といたします。よろしく申し上げます。

○議長 堀口博志 以上で、委員会における審査の経過及び結果報告が終わりましたが、委員長報告に対する質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長 堀口博志 委員長報告に対する質疑はないものと認め、質疑を終結いたします。

これより、第29号議案 平成30年度下仁田町一般会計予算に対する討論に入ります。討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

第29号議案を修正案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第29号議案は修正案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第4、第30号議案 平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これより討論に入ります。

討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

第30号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第30号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第5、第31号議案 平成30年度下仁田町後期高

齡者医療特別会計予算を議題とし、これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。
第31号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。
(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第31号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第6、第32号議案 平成30年度下仁田町介護保険特別会計予算を議題とし、これより討論に入ります。
討論はございませんか。
(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。
第32号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。
(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第32号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第7、第33号議案 平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算を議題とし、これより討論に入ります。
討論はございませんか。
(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。
第33号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。
(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第33号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第8、第34号議案 平成30年度下仁田町水道事業会計予算を議題とし、これより討論に入ります。
討論はございませんか。
(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

第34号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第34号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第9、第35号議案 平成30年度下仁田町ガス事業会計予算を議題とし、これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

第35号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第35号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第10、陳情第1号 若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情について、委員会の閉会中の継続審査の件を議題といたします。

総務常任委員長から、目下、委員会において審査中の陳情第1号について、会議規則第75条の規定によって、お手元にお配りした申出書のとおり、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 異議なしと認めます。よって、委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

○議長 堀口博志 次に、日程第11、陳情第2号 年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情について、委員会の閉会中の継続審査の件を議題といたします。

総務常任委員長から、目下、委員会において審査中の陳情第2号について、会議規則第75条の規定によって、お手元にお配りした申出書のとおり、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査にすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 異議なしと認めます。よって、委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

○議長 堀口博志 次に、日程第12、第36号議案 平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約の変更についてを議題といたします。

提案理由の説明を商工観光課長に求めます。商工観光課長

(林通典商工観光課長 登壇)

○商工観光課長 林通典 命によりまして、第36号議案を朗読し、ご提案、ご説明申し上げます。

第36号議案 平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約の変更について。

平成29年8月30日、第69号議案で議会の議決を経た平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約について、下記のとおり請負契約に変更を生じたため、下仁田町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定及び地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記。

契約の目的。変更前、平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約。変更後、変更前に同じ。

契約の方法。変更前、指名競争入札による契約。変更後、変更前に同じ。

契約金額。変更前、1億44万円。変更後、1億599万1,200円。

契約の相手方。変更前、下仁田町大字馬山3709-1 神戸土木株式会社代表取締役 神戸康宏。変更後、変更前に同じ。

平成30年3月16日提出。

下仁田町長 原秀男。

以上でございますが、よろしく願いいたします。

○議長 堀口博志 提案理由の説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 質疑がないようですので、質疑を終結して討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 堀口博志 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。
第36号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長 堀口博志 挙手全員です。よって、第36号議案は原案のとおり可決されました。

○議長 堀口博志 次に、日程第13、議員派遣の件についてを議題といたします。
会議規則第129条1項の規定により、お手元に配付しました議員派遣の件について、お諮りいたします。

配付書のとおり議員派遣することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 異議なしと認めます。よって、配付書のとおり議員派遣することに決定いたしました。

○議長 堀口博志 次に、日程第14、閉会中の継続調査の申出書を議題といたします。

総務・社会経済常任委員長並びに議会運営委員長から会議規則第75条の規定により、お手元に配付しましたとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

お諮りします。

会議規則第45条の規定により、字句等の整理につきましては議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 堀口博志 副町長
(吉弘拓生副町長 登壇)

○副町長 吉弘拓生 ただいま、議長より発言の許可をいただきましたので、この場をおかりし、皆様にご報告並びにご挨拶申し上げます。

まず、本定例会におきまして、私ごとで多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを深くおわび申し上げます。また、先ほど来より、温かいエールを送っていただく方もたくさんいらっしゃいました。心より感謝申し上げます。

ご案内のとおり、私は福岡県うきは市から平成27年に人事交流ということで着任をさせていただき、その期限が今月末で満了になります。これに伴いまして、原町長に退任願を提出させていただきました。これを許可いただきましたので、3月31日をもって副町長の任を退任することとなりました。

振り返りますと、3年前、平成27年の3月議会において人事案件としてご同意いただき、町としては約8年ぶりとなる副町長として、平成27年4月1日に着任をしたところでございます。同時期に国のほうで内閣府が進めておりました地方創生人材派遣制度というキャリア官僚を派遣する制度がございすけれども、それと重なったこともございまして、特に地方から地方へという例がない起用であるということ、また、当時としましては、私のいた町としても最年少の副町長であるということから大変ご注目をいただき就任したことをきのうのように覚えております。正直なところ、私自身も初めての立場で、どんな仕事なんだろうという期待よりも不安の多い中での副町長の就任でございました。

着任後、副町長という重責の中で、私自身が悩み、そして苦しみ、悲しんだりする姿をまるで我が子のように温かく見守ってくださった町民の皆さん、兄弟のように見守ってくださる町民の皆さん、また寄り添っていただいた、ときにはともに涙を、そして汗を流してくださった町民の皆さん、議員の皆様、そして職員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。この3年間で私は何ができたのかはよくわかりませんが、地方創生という大きな仕事をさせていただいたことは、私自身が学ぶことがたくさんございました。単に、外来のものを持ってきて当てはめるというものではなくて、いかにこの地域に根づいたものに持っていかとということで、私自身の考えも相当とこれからの経験に勉強させていただきたいというふうに考えております。

任期中は、特に人材育成に力を入れていたつもりでございす。現在では、職員の提案による懸念事項等の課題解決、地域づくりや地域内の内発的人口に資する各種制度、そういったものを提案してくれる職員、できないではなくて、どうすればできるかという視点を持って仕事に当たってくれる雰囲気

ができたことが私としては何よりでございます。

この3年間で多くの種まきをしてきたこと、そして、その種の一部は芽が
出まして、例えば奨学金の事業のような花が咲いているものもござい
ます。しかしながら、まだまだ芽が出始めたばかりのものが多いです。
芽というのは地域、それから制度、もしくは伝統や文化かもしれませ
んけれども、私は特に人材の芽だというふうに思っておりますので、
その点につきましては、ぜひ今後とも温かく見守っていただきたい
というふうに思いますし、これからは、その芽を皆さんで育てて
いただき、花を咲かせていただければ幸いですし、できればそこ
から取れる種を皆さんの手でまいていただけたら、より幸甚で
存じます。

最後になりますが、そう遠くない未来に、また皆さんとご一緒
できる日を楽しみに願ひまして、また、私にとって第二のふるさと
である下仁田町のますますの発展と町民の皆様、議員の皆様のご
健康とご多幸を祈念し、退任に当たっての挨拶にかえさせてい
たいただきます。3年間、本当に、本当に本当にありがとうございました。

○議長 堀口博志 　　ただいま、副町長のご挨拶が入りましたので、もとへ返らせて
いただきます。

会議規則第45条の規定により、字句等の整理につきましては議長に一任
願ひたいと思ひますが、これにご異議ございせんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長 堀口博志 　　異議なしと認めます。よって、字句等の整理につきましては、
議長に一任願ひたいと思ひます。

○議長 堀口博志 　　これを持ちまして、平成30年第1回下仁田議会定例会を閉会
いたします。

大変ご苦労さまでした。

閉　　会　　　　　　　平成30年3月20日　　午後　0時01分

以上は、会議の経過を記載したものである。その内容に相違ないことを証するため、
地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長 堀 口 博 志

署名議員 岩 崎 正 春

署名議員 佐 藤 博
